



Miura city council news

# みうら市議会だより

2020.11.1 第143号

- 令和元年度決算を認定
- 二町谷北公園等の管理に関する議案を可決
- 長期欠席した議員の報酬等を減額する条例を制定



総務経済

◎三浦市二町谷北公園等  
条例

◎指定管理者の指定につ  
いて

以上二件は、二町谷北公園及び二町谷北護岸の管理等に関し、必要な事項を定め、これら二か所の指定管理者として、エス・パシオミサキマリリゾート株式会社を指定するものです。



**質問** 駐車場の利用料金について、上限額を一時間四百円とした理由は、

また、駐車場が利用しやすいように、一日の上限額を設けてはどうか。

**答弁** 上限額は近隣の例を参考に定めている。

実際の利用料金や一日単位などの設定については、今後、指定管理者と協議を行う。

◎三浦市債権管理条例の  
一部を改正する条例

本案は、強制徴収公債権の延滞金の特例について、必要な規定の整備を行うものです。

**質問** 延滞金の徴収率というものはわかるのか。

**答弁** 延滞金は本税が納められないと決まらないため率は算出していませんが、確実に徴収するため管理を行っている。

◎三浦市市税条例の一部  
を改正する条例

本案は、固定資産税に係る現所有者の申告や、課税標準の特例等について、必要な規定の整備を行うものです。

**質問** 所有者の申告制度を導入する利点をお聞きしたい。

**答弁** 相続人が多数いる場合や相続の放棄がある

場合に、課税庁が所有者に関する情報を円滑に把握できるようにする。

◎三浦市三崎水産物地方  
卸売市場条例の一部を改  
正する条例

本案は、魚市場の一次加工処理施設に係る使用料を新設するものです。

**質問** 一次加工処理施設の使用料の算出根拠をお聞きしたい。

**答弁** 施設の建設費や、今後三十年間の維持管理費の合計金額を月額に割り返して算出している。



◎工事請負契約の締結に  
ついて

本案は、引橋B二地区造成工事について、契約金額を一億七千五百六十四万四千円、履行期限を令和三年八月六日とし、古山建設株式会社と請負契約を締結するものです。

**質問** 造成工事に要する

費用と、当該地で建設発生土を受け入れることによる収入とのバランスについてお聞きしたい。

◎令和二年度三浦市一般  
会計補正予算(第四号)

本案は、歳入歳出それぞれ二億九千九百九十六万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額を二百二十二億三千五百九万三千円とするほか、債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

◎令和二年度三浦市一般  
会計補正予算(第四号)

本案は、歳入歳出それぞれ二億九千九百九十六万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額を二百二十二億三千五百九万三千円とするほか、債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

**質問** 住宅リフォーム助成事業の助成件数を増やすが、この財源と周知方法をお聞きしたい。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症対策として募った寄附金を活用して実施する。

市ホームページやチラシ・ポスターでお知らせするが、建設業者の紹介による広がりにも期待をしている。

都市厚生

◎令和二年度三浦市介護  
保険事業特別会計補正予  
算(第一号)

本案は、歳入歳出それぞれ七十九万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額を五十一億九千八百三十五万円とするものです。

◎令和二年度三浦市公共  
下水道事業会計補正予算  
(第一号)

介護保険のシステム改修を行うが、この内容と、システムを利用することのメリットについてお聞きしたい。

**質問** マイナンバー法に基づき市町村間で情報照会や提供を行うためのシステムの改修を行うもので、毎年一回、改正がある。

このシステムにより、自治体間で住所を異動した市民に関する照会をする場合に、文書によらず素早く回答ができ、利便性が図れる。

**意見** マイナンバーの利用については、プライバシーの侵害や管理などの

面で懸念の声も広がっている。マイナンバーに関連する本案には反対する。



◎令和二年度三浦市公共  
下水道事業会計補正予算  
(第一号)

本案は、特例的収入及び支出の額をそれぞれ改めるものです。

**質問** 特例的収入及び支出の補正を行うということについて説明をしてほしい。

**答弁** 下水道事業に地方公営企業法を適用した本年四月一日以降は出納整理期間の規定が適用されないため、令和元年度分の未収金及び未払金を計上したものが特例的収入及び支出である。

今回、この金額が確定したため補正を行っている。

# 新たに提出された陳情

◎令和三年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情

趣旨 本陳情は、令和三年度予算

の策定に際し、重度障害者医療費助成制度について、障害児者が負担なく医療を受けられるような施策を求めています。

◎令和三年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情

趣旨 本陳情は、令和三年度予算

の策定に際し、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援を行う施策を求めています。

◎放課後児童クラブについての陳情書

趣旨 本陳情は、「放課後児童支

援キャリアアップ処遇改善等事業」の予算化や、行政による利用料の減免措置、放課後児童クラブでの新型コロナウイルス感染症への対応に関する協力及び支援措置を求めています。

◎高齢者等虐待防止条例の制定を求める陳情書

趣旨 本陳情は、高齢者や障害者、

児童を含む社会的弱者の虐待防止のため、虐待防止条例を制定することを求めています。

◎「別居、離婚後の面会交流についての法整備を求める意見書の提出」についての陳情書

趣旨 本陳情は、別居・離婚した

親が、離れて暮らす子供と面会・交流する「面会交流」の具体的な根拠や指標を設け、法整備を行うことについて、国に意見書を提出することを求めています。



## 陳情の審査結果

9月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	令和3年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情	了承できるもの
	令和3年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情	
	放課後児童クラブについての陳情書	

### 特別委員会の調査

(中間報告)

三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会

九月二十四日に、四回目となる委員会が開かれました。

まず、これまでの経過として、不祥事が発生した環境の検証や再発防止策の検討結果、刑事裁判の結果について、市から報告を受けました。

また、三浦市及びマラソン実行委員会に対し損害を与えた元事務局長に対し、市として損害賠償請求の訴訟を起こす準備を進めていることが報告されました。

選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会

当委員会では、選挙管理委員会の事務執行に関連して石渡道臣議員への質疑を行っています。石渡議員が議会を欠席中であるため、調査を中断しています。

今定例会では、石渡議員が議会に出席でき次第、委員会を開くことを確認しました。

※なお、石渡道臣議員は十月三十一日に議員を辞職しました。

# 令和元年度 歳入歳出決算を認定

## 決算審査特別委員会の審査から 一部抜粋

令和元年度の一般会計、企業会計を含む特別会計の決算認定議案を、七人の委員で構成する決算審査特別委員会で五日間にわたり審査しました。

### 総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

**質問** 令和元年度、一年間の総括を問う。

**答弁** 決算で示されたとおり厳しい財政環境だったが、これまで長い間取り組んできた事業が徐々に進んできたという認識である。

**質問** 元年度は、ふるさと納税が過去最高額となったが、市長の感想は。

**答弁** たくさん寄附をいただけてよかったと思っている。国から、返礼品

### 一部抜粋

は寄附額の三〇%以内というルールが示されたことで、町の魅力があるところに寄附が流れた傾向があり、三浦市が選ばれたのだと思う。引き続き、高い目標を持って取り組みたい。

**質問** 三崎高校跡地に、ベイシアが開業、市民交流センターが開設し、引橋地区に賑わいが生まれた。このことに対する見解を伺いたい。

**答弁** さまざまな経過を経たが、大きな市費の投入をせずに効果を生むことができた。新たな町の中心核となるような第一

歩がスタートできたと考えている。

**質問** 重要課題である二町谷埋立地の利活用では、多目的活用事業用地、水産関連施設事業用地ともに事業者の進出が進んでいる。市長の思いは。

**答弁** 土地の利活用には非常に長い間取り組み、漁港区域の新たな活用として、全国でも先駆的な取組ができたことは恵まれていると思う。

債務として市民への負担が残ってしまうというつらい思いはあるが、地域の活性化で還元していきたい。

委員 長 神田 眞弓  
副委員長 溝川 幸二  
委員 寺田 一樹  
石橋 むつみ  
鈴木 敏史  
長島 満理子  
出口 眞琴

### 決算審査 特別委員会

## 令和元年度 各会計の決算状況

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)	差引額
一般会計		201億1,408万円	197億8,297万円	3億3,111万円
特別会計	国民健康保険事業	61億4,026万円	61億3,258万円	767万円
	後期高齢者医療事業	7億8,259万円	7億4,449万円	3,810万円
	介護保険事業	51億2,957万円	51億1,155万円	1,802万円
	市場事業	15億2,908万円	15億2,308万円	599万円
	公共下水道事業	10億4,884万円	10億1,405万円	3,478万円
	第三セクター等改革推進債償還事業	5億4,057万円	5億4,057万円	0円
	企業会計	病院事業	27億4,898万円	28億805万円
水道事業		16億9,768万円	19億2,633万円	△2億2,865万円

※金額はすべて1万円未満を切り捨て。企業会計は収益的並びに資本的収入及び支出の合計額です。

# 一般会計

## 歳入

**質問** 税の収納率を上げるために、どのような取組をしたのか。

**答弁** 元年度では、初めて休日納税相談窓口を開いた。四日間で百二十五人が訪れ、相談者からの納付総額は約百六十七万円と、収納効果があった。

## 歳出

### 総務費

**質問** 市民相談で多かったものは何か。

**答弁** 昨年の台風被害に関する相談が多く寄せられた。そのほか、空き家、空き地の増加に伴うものと見られる、生活環境に関する相談が多かった。

### 民生費

**質問** 児童虐待防止について、新型コロナウイルス感染症対策による休校期間中はどのように対応したのか。

**答弁** 休校が決まった時点で、教育委員会と子ども課で状況の把握が必要な児童をピックアップし、学校や保育園、学童保育等と連携して確認を行った。

も課で状況の把握が必要な児童をピックアップし、学校や保育園、学童保育等と連携して確認を行った。

### 農林水産業費

**質問** 三浦野菜のトップセールスを行っているが、訪問先の選定方法と成果をお聞きしたい。

**答弁** 訪問先は三浦市農協と協議し、共販データをもとに選定した。前年度の訪問先は元年度に取引量が増加している。



### 商工費

**質問** 三浦市の地場産品消費拡大のため物産展などに出席しているが、成果はどうか。

**答弁** PRするターゲットを決めて様々なイベントに出展しているが、台風や新型コロナウイルスの影響で二つのイベントが開催中止となった。

# 特別会計

## 国民健康保険事業

**意見** 国保税については、全国的に子供の均等割の減免が広がっている。三浦市でも「子育てに優しい」という視点から検討してほしい。

## 介護保険事業

**質問** 低所得者への保険料の軽減措置がされたが、内容をお聞きしたい。

**答弁** 消費税率が引き上げられたことに伴い、第一段階から第三段階までの五千三十七人を対象に軽減が行われた。

## 市場事業

**質問** カツオ船の誘致に取り組んでいるが、状況はどうか。



# 討論

賛成

反対

## 反対討論

### ○石橋むつみ委員

市職員の中途退職が目立つので、働きやすい職場づくりや実情に応じた採用が必要である。小中学校の就学援助制度は、子育て施策として充実を求める。

## 賛成討論

### ○長島満理子委員

ふるさと納税の取組は職員の努力のもと成果が表れた。台風により多くの事業者や施設、市民生活に影響が生じたが、早期の事業再開を支援したことが評価できる。

### ○鈴木敏史委員

元年度は市民交流センターが開設され、市民活動の促進が図られた。二町谷埋立地の土地売買契約が令和二年三月になされたことは、市長初め職員の努力の結果である。

## 水道事業



**意見** 水道事業は、厳しい経営状況の中、老朽管の更新などを進め、安全・安心な水の安定供給をしなければならぬ。事業費の確保がこれからの課題であり、今後とも経営改善に努めてほしい。

**答弁** 元年度は二百二十トンの水揚げがあった。カツオ船の船主からは取引量の拡大を要望する声があるので、手法を検討したい。

## 病院事業

**質問** MRRを更新したが、運用状況はどうか。

**答弁** 前年度との比較では、稼働した月数に差があるものの、検査件数は五百件以上増加している。また、磁力の高い機器を導入したことで診療報酬も約二倍となった。

# 本会議における討論

議案第61号 令和元年度三浦市一般会計決算の認定について

## 反対討論

日本共産党 石橋むつみ

教育費や公共施設の補修維持管理の予算がなかなか組めないなど、市財政は依然として厳しい状態である。

就学援助制度は、学用品費と新入学学用品費の支給額は国基準の二分の一で、援助対象の基準は横須賀市より低い。教育の機会均等、子育て施策とし

て、支給額を国基準にし、援助対象を横須賀市と同基準にすることを求める。  
 コロナ感染症の収束も見通せない中、地域経済と市民の暮らしは大変であり、市は的確で計画的な財政運営が求められる。公正で民主的な市民本位の行財政運営で、市民の暮らしと営業を守ることが求められる。



## 賛成討論

自由民主党 長島満理子

歳入増加策として、ふるさと納税に取り組み、三浦の魅力ある返礼品により成果が表れている。

長年の重要課題であった二町谷埋立地の企業誘致について、市長を初め、職員の懸命な努力により土地売買契約が締結されたことは称賛する。

また、台風により各施設や農業、中小企業、市民生活に大きな影響を与えたが、事業の早期再開を支援し、対応したことを評価する。  
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休校要請や施設の閉館、イベントの中止など状況は一変したが、新しい生活様式を実践し、市民生活を第一に考えた取り組みを要望する。

## 賛成討論

公明・みうらクラブ 溝川 幸二

歳入増加策では、ふるさと納税において「みうらっ子応援プロジェクト」を実施し、子供用大型遊具の設置や災害時子ども・乳幼児用食料・備品整備など、児童・生徒の安心・安全対策の促進が図られている。

作戦に積極的に取り組み、市民の方々の協力、市内事業者との連携によって削減効果が出せたことは、まさしく市民協働の成果であり、評価する。  
 コロナ禍にあるが、官民協働による市内経済の活性化、市民生活の安心・安全と生活の向上に向けた市政運営を期待する。



## 表紙写真の紹介

議長の草間です。  
 今回の写真は、九月中旬に撮影した小網代の森です。

継続的にまとまっている集水域生態系を構成しているところであり、関東地方で唯一の自然環境と言われる大変貴重な森です。  
 平成二十六年七月に散策路がオープンしてから、毎年約四万人の来遊者が訪れています。

当日は、木立の間からまだ夏の日差しが降り注いでおり、暑い昼下がりに汗だくになりつつ、引橋入口から小網代湾を目指して一人写真を撮りながら散策してきました。

今年は、コロナ感染症予防対策として二カ月間閉鎖をしていましたが、現在は開放しています。  
 引橋には、昨年オープンした市民交流センター内に「小網代の森インフォメーションスペース」や来遊客専用駐車場などが整備されています。

小網代の森は、三浦半島の先端にある相模湾に面した約七十ヘクタールの森です。特徴は、海、干潟、湿地、河川、集水域の森林が自然状態で連

なっています。  
 是非、散策してください。

## 人事

教育委員会委員に次の方を任命するための議案が提出され、原案のとおり同意しました。

教育委員会委員 石崎 勇吾氏



# 本会議での議案等の審議結果

## 《全員賛成で議決した議案》

### 【議案】

- 第55号 三浦市二町谷北公園等条例
- 第56号 三浦市債権管理条例の一部を改正する条例
- 第57号 三浦市市税条例の一部を改正する条例
- 第58号 三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例
- 第59号 工事請負契約の締結について
- 第60号 指定管理者の指定について
- 第64号 令和元年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 第65号 令和元年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について
- 第68号 令和元年度三浦市病院事業会計決算の認定について
- 第72号 令和2年度三浦市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
- 第73号 訴えの提起等について
- 第74号 令和2年度三浦市一般会計補正予算（第5号）
- 第75号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

### 【議員提出議案】

- 第2号 三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例

### 【意見書案】

- 第5号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

## 《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

番 号	件 名	審議結果	自由民主党				公明・みうらクラブ			日本共産党		無所属		
			草間道治	長島満理子	出口正雄	神田真弓	出口真琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	石渡道臣	蓮本一朗
【議案】 第61号	令和元年度三浦市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○
第62号	令和元年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○
第63号	令和元年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○
第66号	令和元年度三浦市公共下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○
第67号	令和元年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○
第69号	令和元年度三浦市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○
第70号	令和2年度三浦市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○
第71号	令和2年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○

※ 議長は表決に加わらない

# 一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずくことをいいます。第3回定例会では、11人の議員が市政運営について市側の考えをたずきました。



## 観光振興について

市民交流拠点B地区整備計画

自由民主党 長島満理子

**質問** 海水浴場の安全対策について伺う。海水浴場は開設されなくても、海にはブイが設置され、マリンスポーツと遊泳のすみ分けができ、安全面を考えた、大変評価するところである。期間中の水難事故やトラブルに関する状況はどうだったのか。また、ルールの徹底に難しさを感じたと思うが、課題などの認識はどうだったのか伺う。

**市民部長** 水難事故に関して、救急搬送を伴う案件が一件あった。ライフセーバーと救急隊員の適切な措置で経過は良好であると聞いている。トラブルは、酔った勢いでライフセーバーともめた案件が報告されているが、全体として、マナーよく海岸が利用されていたように把握している。懸念

されていたマリンスポーツとの接触事故は報告がなかった。飲酒等に関して強く規制ができない状況であった。神奈川県と連携して今後の課題として対応していく。

**質問** コロナ禍における観光業について伺う。  
**市長** 三浦市は観光のまち、食のまちである。観光業とコロナとの共存については、県が発行する感染防止対策取組書などを掲示し、感染防止対策を講じて頂き、コロナ禍の中で、周りの状況を判断しつつ取り組んでいくのが重要であると思う。今、新しい生活様式をきちんと踏まえ、それに沿ったものに進化を遂げていけるよう工夫を重ねていきたいと考える。

**市長** 造成工事は、令和三年八月までの一期工事と令和三年十一月から令和四年六月までの二期工事を予定している。工事完了後は、B地区内に整備した市道とB地区北側入ノ澤地区とを結ぶ道路整備を検討している。道路以外の施設に関しては、市民交流拠点のコンセプトに沿った民間施設の誘導を図り、図書館等の整備や市役所の移転候補地としても検討し、現在市役所がある城山地区の利活用とセットとした活用可能性を検討中である。

**質問** 交流拠点B地区造成計画について、工事は



海水浴場が開設されなかった三浦海岸





## 緊急経済対策

休校期間中の授業遅延

公明・みうらクラブ 溝川 幸二

**質問** 中小企業者向けに、緊急経済対策交付金事業を実施した目的は？

**市長** 新型コロナウイルスの影響により、厳しい経営環境の事業者への一助となるよう実施した。

**質問** 漁業者緊急経済対策交付金事業について事業概要を伺う。

**水産担当部長** 飲食店等の営業自粛で魚価低迷の影響を受けた、漁業者を支援するものである。

**質問** 本事業実施に関わる効果を伺う。

**市長** 市独自事業であり、緊急事態宣言下の魚価の急激な落ち込みに影響を受けた漁業者に対して効果的であったと思う。また、三浦市が独自に漁業者への緊急経済対策の実施は、県内関係機関より評価されている。

**質問** 経済対策補助金交

付事業の目的を伺う。

**市長** 第三弾となる経済対策補助金交付事業は、激減した観光客の回復、消費喚起を目的とする。

**質問** 概要を伺う。

**市長** グルメチケットの発行と、みうらおもてなしバスツアー補助の二つである。

**質問** 経済対策が市内経済に与える影響や効果はどのように考えるか。

**市長** 新型コロナウイルスの影響によりイベント等がことごとく中止し、大変な影響がある。二つの経済対策はスピード感を重視し、第三弾は市内経済の回復を狙い、関係者と連携し、少しでも不安を取り除けるようにしたい。

### 授業の遅延について

**質問** およそ三か月もの授業の遅延が起こって

る今、どのように授業を進めるのか、伺う。

**教育部長** 各学校教育課程は、学習指導要領の基準により校長が編成し、年度をまたいだ臨時休校によって生じた未学習の内容は、上級学校及び学年に引継ぎを行った。

**質問** 遅延した授業の補充方法について伺う。

**教育部長** 休校期間中実施できなかった授業時数を確保するため、長期休業期間の短縮、行事における準備時間の縮減等の各種取組を行っている。

**要旨** 子供たちにとって学習は財産であり、大事な時期だと思っている。子供や保護者が不安を解消し、受験を控える生徒なども安心して勉強に取り組めるよう要望する。



不足した授業時間の補充が懸念される

## 受診の流れは

平和行政、教科書採択

日本共産党 石橋むつみ

**質問** 新型コロナウイルススには未知の部分が多

く、収束の兆しが見えない。

「自分がかかっているか不安でしょうがない」「どうしたらいいかわからない」などの話も聞く

が、相談から検査、入院

など医療的な手当までの流れをお聞きしたい。

**保健福祉部長** 受診に関する一般的な相談は健康づくり課でも対応している。PCR検査実施の有

無は鎌倉保健福祉事務所三崎センターに相談の上、決まるが、三浦市立病院発熱外来での受診から医師の判断でPCR検査をする場合もある。

心配な症状がある場合は、まずかかりつけ医に電話をするか、市立病院発熱外来の受診を案内している。

**質問** 今年は戦後七十五年であり、戦争体験や被爆体験について多く耳に

し、語り継ぐということを考えさせられる夏だった。平和に関する今年の取組について伺いたい。

三浦市のホームページを見ると、平和行政のコーナーが充実してきていると感じる。これはとても大事な取組だと思う。

**市長** 三浦市核兵器廃絶平和都市宣言の理念を根幹に事業を行っている。平成二十七年から開催している「みうらピースデー」は、コロナ禍において今年の開催のめどは立っていない。

**政策部長** ホームページは、みうらピースデーの特集ページなど、充実を図った。平和行政では、啓発活動は大切な取組であり、今後も情報発信に

努めたい。

**質問** 令和三年度から市内の中学校で使用する教科書の採択が八月六日の教育委員会で行われた。三浦市の教科書採択の方法について伺う。

三浦市では、教員や保護者などの声を基に、公開のもとで採択を行っている。この姿勢は守ってほしい。

**教育部長** 校長会や保護者などの代表で構成する教科用図書採択検討委員会が、教員が行った調査や教科書用図書の展示会の結果などを資料にして検討を行っている。

この検討結果を参考に、教育委員会臨時会で教科用図書の採択を行った。



市立病院の発熱外来～直接行かずに、まず電話で相談を



# コロナ対応ほか

避難所と新教科・歴史教育

無所属 蓮本 一朗

**質問** コロナ感染症の第二波が襲来している。

市民の安心のためにも、医療現場や教育現場等の職員は定期的にPCR検査をしていく仕組みが必要なのではないか。

**保健福祉部長** 教員や医療職の定期的な検査は、医師会、鎌倉保健福祉事務所三崎センター、市の医療体制の協議の中では、検討対象とはなっていない。医療現場、福祉現場、教育現場など感染拡大の影響が高い施設での感染があれば、保健所の調査により、濃厚接触者より対象範囲を広げて検査を実施していくことになる。

あると思うがいかがか。

**防災担当部長** これまでより広いスペースが確保できる体育館等の使用について施設管理者と調整し、避難所として使用することに了承を得ている。また、避難者の増加に備え、市民ホールや潮風アリーナを避難所として活用することを予定している。

**質問** 三浦市教育委員会が計画していたICT環境整備計画に対する、GIGAスクール構想の影響についていかがか。

**教育部長** 国が「GIGAスクール構想の実現」を打ち出したことは市への追い風となり、二〇二二年までの目標としていたタブレット端末一人一台の整備を前倒しで進めることが可能となった。

**質問** 災害発生時、避難者に対し密を回避して十分なスペースを確保するためには、避難所を増設するなどの対策が必要で

**質問** 現在行われている歴史教育の状況についていかがか。

**教育部長** 市内小学校三年生に三浦市教育委員会が作成する社会科副読本「わたしたちの三浦」を配付し、主に三年生から四年生において地域学習を行っている。その一環で地域の暮らしの移り変わりや文化財、先人の偉業等について学習している。また、六年生や中学生では、歴史学習を進める中で、適宜当時の三浦の様子と比較・関連させながら学習を深めている。



海防陣屋跡を示す石碑—南下浦市民センター 蓮本撮影 (令和2.10.4)

# 災害対策

城山地区、城ヶ島京急ホテル

自由民主党 出口 正雄

**災害対策**

**質問** 昨年は台風により東日本では甚大な被害を受けた。今年も新型コロナウイルスの感染拡大という命に関わる危険性が迫っている。避難所の開設が必要となる災害の多発が危惧されるが、冷房や三密対策などの対策を聞く。

**市長** 喫緊の課題は避難所の体制並びに新型コロナウイルス対策と考える。詳細は担当部長から答弁させる。冷房対策は必要性を感じている。現在全小中学校の体育館などにスポットクーラーと大型サーキュレーターを整備を進めている。また、潮風アリーナや市民ホールなど、エアコンを設置してある場所を避難所に追加することなどを進めている。

**防災担当部長** 先般、職員を対象に新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ避難所資機材取扱研修を実施した。この研修では無線機、発電機、照明器具など避難所運営に欠かせない資機材の取扱いのほか、感染症対策を実際に体験する形で行った。今後、臨時交付金を活用してテントや防護服、消毒液等を整備する予定である。

**城山地区の開発**  
**質問** 新型コロナウイルスの感染増加に伴い、多くの企業がテレワークを導入している。オフィスを縮小したり、郊外に移転する動きもある。城山地区の開発は良い機会でありスピードを速める必要があると思うが如何か。

**市長** 城山地区は、多くの観光客にお越しにいた

いている三崎下町地区に隣接している、経済的な機能の導入が可能な場所と考える。具体的には宿泊施設などの導入の動きをしているがテレワークも含め具体的に考えていく。

**城ヶ島京急ホテル**

**質問** 建て替え計画があった京急ホテルが新型コロナウイルスの影響で閉館され、今後の動向も不明と聞く。京急との協議の状況を聞く。

**市長** 京浜急行電鉄から引き続き建て替えの検討を進めると確認している。城ヶ島地区活性化協議会で、京急から社内検討を進め、案が完成した段階で示させていただくと報告があった。城ヶ島西部地区全体のまちづくりの中で建て替えも検討されていくものである。



城ヶ島京急ホテル



## 予防接種と助成金

住宅リフォーム助成事業  
公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

**質問** 今回の補正でインフルエンザ予防接種を推奨するため、六十五歳以上が対象のインフルエンザ予防接種補助事業を、六十歳から六十四歳まで対象を広げ千円の補助を行い、重症化リスクが高い高齢者対策が重要だと思つて、発熱の発生を減らすため予防接種を行うことが、医療体制の逼迫を抑えると思つて内容を聞く。

**保健福祉部長** 予防接種補助事業は対象者に、千円の接種補助券を発送する。市内の医療機関に予約し、接種補助券を持って、医療機関で任意で接種を受ける。接種補助券を利用し、費用から千円を差し引いた額を支払う。市内の医療機関に限った制度である。

**質問** 住宅リフォーム助成事業は、市民の住環境の向上と経済活性化対策には重要な施策である。本事業は、平成二十三年度から継続しているが、これまでの助成件数・工事費・事業者数と、第一期の募集には何件の応募があつたのか聞く。

**総務部長** 助成事業は十年目を迎え、件数四百七十六件・工事費約二億八千六百三十六万円・事業者百四十社である。第一期の応募状況は、助成枠を三十件に拡大し募集したところ、四十九件の応募があつた。

**質問** 第一期の募集状況は応募枠を超える応募があり、市内における住宅リフォームの需要は高水準である。助成事業は経済効果も大きく、市内の経済活性化に直結する事業だと思つた。今議会の補正でコロナ対策のための緊急経済対策の一環として、助成枠を四十件追加し八十件になるが、助成枠追加の考えを市長に聞く。

**市長** 今回の補正で助成枠を追加した。リフォーム工事に助成を行い、市内事業者の受注に限定して、経済活性化と連鎖に期待する。十年間の実績額を見ると、経済効果につながっている。この助成をきっかけとし、リフォームに取組むという話も聞いた。また業界からも歓迎されている。コロナ感染症による経済の停滞や景気の低迷は、市内建設業界にも影響があると聞いた。緊急経済対策の一環として、市内経済及び景気の活性化につながることを期待する。

**質問** 学校教育ビジョンでは、市内にある八つの小学校を三校にしてしまう「二中学校区一小学校」を令和七年度に実施する予定である。三崎地域では、三崎・岬陽・名向小学校の三校が一枚に、南下浦地域では、剣崎・南下浦・上宮田・旭小学校の四校が一枚になつてしまつた。大きな心配の一つは、通学距離である。ビジョンを発表してから一年以上が経つが、長くなる通学距離についての対策を示すべきではないか？



リフォーム助成金を受け工事中

**教育部長** 通学手段については、市役所全体で考える課題である。様々な可能性を検討することとしている。

**質問** 学校教育ビジョンでは、市内にある八つの小学校を三校にしてしまう「二中学校区一小学校」を令和七年度に実施する予定である。三崎地域では、三崎・岬陽・名向小学校の三校が一枚に、南下浦地域では、剣崎・南下浦・上宮田・旭小学校の四校が一枚になつてしまつた。大きな心配の一つは、通学距離である。ビジョンを発表してから一年以上が経つが、長くなる通学距離についての対策を示すべきではないか？



干潟にいるチゴガニ



## 学校教育ビジョン

住宅リフォーム、小網代の森  
日本共産党 小林 直樹

**質問** 学校教育ビジョンでは、市内にある八つの小学校を三校にしてしまう「二中学校区一小学校」を令和七年度に実施する予定である。三崎地域では、三崎・岬陽・名向小学校の三校が一枚に、南下浦地域では、剣崎・南下浦・上宮田・旭小学校の四校が一枚になつてしまつた。大きな心配の一つは、通学距離である。ビジョンを発表してから一年以上が経つが、長くなる通学距離についての対策を示すべきではないか？

**質問** 住宅リフォーム助成制度は、市内の施工業者が行う住宅やマンションのリフォーム工事に對して助成する制度である。大きく二つの目的がある。一つは、建設業の振興を図り市内の経済を活性化させることである。もう一つは、市民の住環境を向上させることである。今年度は、二十万円以上の工事に七万円の助成金である。

**市長** 今年で十年目になるが、毎年、多くの応募をいただいております。市民皆様の関心の高さや期待度も感じている。市民ニーズに応えるためにも、実施について、きちんと対応していきたいと考えている。

**質問** 小網代の森の動植物調査は、小網代の森が近郊緑地特別保全地区に指定されてから九年になる。適正に管理していくために、また、優れた自然環境の魅力を高めるためにも、行政機関が定期的に動植物調査を行うことが必要だが、どのように考えているか？

**都市環境部長** 行政により定期的かつ継続的に動植物調査を実施することは、必要なことと認識している。県においても、環境学習の場に位置づけられている。小網代の森が所在する地元市として県に訴えていきたい。

**質問** 小網代の森の動植物調査は、小網代の森が近郊緑地特別保全地区に指定されてから九年になる。適正に管理していくために、また、優れた自然環境の魅力を高めるためにも、行政機関が定期的に動植物調査を行うことが必要だが、どのように考えているか？

**都市環境部長** 行政により定期的かつ継続的に動植物調査を実施することは、必要なことと認識している。県においても、環境学習の場に位置づけられている。小網代の森が所在する地元市として県に訴えていきたい。



# 駐車場対策

グルメチケット

無所属 寺田 一樹

**質問** 三崎地区では、以前から駐車場不足が課題となつている。最近では、

**要望** 三浦縦貫道路が延伸されたことで、本市へのアクセスは格段に良くなり、自家用車での来訪が多くなることも考えられる。物理的に土地がな

つていっているように感じる。さらには、臨時駐車場として活用していた二町谷埋立地を企業へと売却したことから、今後、臨時

駐車場として活用することとは困難になつてきている。従つて、週末などには、駐車場待ちに起因する渋滞がしばしば発生している。駐車場の不足感

は否めないと思うが、行政としてはどのように捉えているのか尋ねる。

**経済部長** 増刷する声があることはありがたいことだが、コロナウイルス感染症の影響も観ながら、必要に応じた対応を考えてまいりたい。

**市長** 駐車場不足については大きな課題であると認識している。観光客の利便性と臨時駐車場の確保などの対策が必要であると考へている。

**質問** グルメチケットの発行は、落ち込んだ地域経済を回復させるために大きな役割を担っている。特に今回は、プレミアム

率が高くなつており、市内外で関心が高くなることも想定される。地域経済への貢献が顕著であった場合など、グルメチケットを増刷して消費の後

**質問** グルメチケットを使うことは地域経済にとつて喜ばしいことだが、感染のリスクは高くなる。チケット取扱店や、チケットを購入して市内を回遊する来訪者に対して、

感染防止対策の徹底をどのように図つていくのか。

**市長** センター機能を持つ施設の整備がすぐに実現できるかは別として、心身障害児生活訓練会の施設面の課題もあるので、今後の療育の充実に向けて、市でも捉えていきたい。

**質問** 中学校生活、小学校生活総決算となる思い

**質問** 三浦市の療育の質を高めることに通じるのは、心理士、相談員、看護師など、専門職を配置すれば適切なアドバイスが可能となり、障害児の早期受入れ、早期治療につながる。訓練会の事業と療育の取り組みを同時に行うことができる、療育専門のセンター機能を持つ施設を設置すべきと思う

か何う。

**教育長** 各学校の学習の進み具合などを総合的に考え各学校で判断するが、子供の健康・安全を最優先に考えた対応を求めている限りサポートする。

**質問** 下町活性化について

中止になつたイベントの今後について何う。

**経済部長** イベントの開催手法においてもコロナと共存した工夫が必要であり、市民の皆様と知恵を出し合い、三崎下町のにぎわいを早期に取り戻したい。

**質問** 三崎下町の交通渋滞について

三崎下町うらりマルシエ周辺の駐車場が満車で

下町一帯に渋滞が発生したが、対策を何う。

**市長** うらりマルシエ先の三浦市水産物集配施設周辺の土地を臨時駐車場として使用することを東

**質問** 「ゼロカーボンシティみうら」宣言

五月七日に宣言をされ、宣言後の取り組み、市民、市内企業などへの周知や発信について何う。

**市長** ホームページを設けて、意味や本市がなぜ宣言をしたのか、市民の皆さんが気軽に身近な節電等の活動を通じて二酸化炭素削減に取り組みめるようにし、機会を促して地球温暖化対策への協力を呼びかける考へである。



駐車場待ちの車列



# あつたかいまち

子供を産み育てたくなるまち

自由民主党 神田 眞弓

**質問** 三浦市の療育の質を高めることに通じるのは、

出づくり

心理士、相談員、看護師など、専門職を配置すれば適切なアドバイスが可能となり、障害児の早期受入れ、早期治療につながる。訓練会の事業と療育の取り組みを同時に行うことができる、療育専門のセンター機能を持つ施設を設置すべきと思う

思い出をつくることのできる行事やイベントの中止をどのように救済していくか何う。

**教育長** 各学校の学習の進み具合などを総合的に考え各学校で判断するが、子供の健康・安全を最優先に考えた対応を求めている限りサポートする。

**質問** 下町活性化について

中止になつたイベントの今後について何う。

**市長** センター機能を持つ施設の整備がすぐに実現できるかは別として、心身障害児生活訓練会の施設面の課題もあるので、今後の療育の充実に向けて、市でも捉えていきたい。

**質問** 三崎下町の交通渋滞について

三崎下町うらりマルシエ周辺の駐車場が満車で

下町一帯に渋滞が発生したが、対策を何う。

**市長** うらりマルシエ先の三浦市水産物集配施設周辺の土地を臨時駐車場として使用することを東

**質問** 「ゼロカーボンシティみうら」宣言

五月七日に宣言をされ、宣言後の取り組み、市民、市内企業などへの周知や発信について何う。

**市長** ホームページを設けて、意味や本市がなぜ宣言をしたのか、市民の皆さんが気軽に身近な節電等の活動を通じて二酸化炭素削減に取り組みめるようにし、機会を促して地球温暖化対策への協力を呼びかける考へである。



二町谷臨時駐車場



# GIGAスクール

防災・減災対策について

公明・みづらクラブ 藤田 昇

## 質問 避難所の選定につ

いて、近年、大規模地震や大規模水害など、想定を超える自然災害が頻発化し、日常化している。

こうした自然災害に対

して避難所を開設する場合には、新型コロナウイルス感染症の影響が広がる現下の状況を踏まえ、感染症への対策に万全を期すことが重要となつてく

る。昨年の台風十九号が接近した際には約三百名の避難者があり、市内三か所の避難所がほぼ満杯になる状況で、今年もこのような状況になった場合、コロナウイルス感染症に関するソーシャルメディアが保てなくなるため、感染防止を考慮した避難所の選定が必要になるが、どのような対応を考えているのか伺う。

防災担当部長 二指摘の

についても要望してきてい

る。今議会で、小中学校

の教材教員整備事業、G

I G A スクール構想の一

環として、タブレット端

末を一人一台整備するた

めの補正予算が計上され

ているが、タブレット端

末の導入台数など、具体

的な整備計画について伺

う。

**教育部長** タブレット端

末の整備数は、来年度か

らの学習に間に合うよう

に、令和三年度の児童・

生徒数の見込みで積算し、

今年度内に導入する計画

で、具体的な導入予定台

数は、小学校児童用が千

四百四十七台、中学校生

徒用が八百二十六台、合

わせて二千三百七十二台

となつている。

# 水道事業について

市立病院・熱中症対策・その他

自由民主党 出口 眞琴

## 質問 水道事業の経営状

況と課題について伺う。

**上下水道部長** 水道事業

の経営は、人口及び給水

量の減少に伴い水道料金

収入が減少し、平成二十

二年度から収益的収支の

赤字決算が続ぎ、大変厳

しい状況である。アセツ

トマネジメントの策定支

援で県と共同で、三浦市

営水道の諸課題の整理と

課題解決を検討している。

**質問** 今後の経営戦略等

にどのように結び付けて

いくのか。

**上下水道部長** 三浦市営

水道事業が当面の間、必

要な行うべき計画を今年

度中に策定する予定とい

る。

**質問** 料金改定について

市長は、任期中は料金改

定しないが、現在の考え

を伺う。

**市長** 今年度中には水道

の危険性も高まるが教育

委員会の考えを伺う。

**教育部長** 保護者とも連

携し、児童の発達段階や、

学習上の必要性、通学上

の負担など実態を考慮し

て、各学校で判断し、指

導している。

**質問** 大規模外洋養殖施

設の、市としての取り組

み方針について伺う。

**市長** 大規模養殖施設の

誘致を本市の経済振興の

好機と捉え、三浦市の地

域経済の活性化につな

がるよう、協議会を通じて

働きかけてまいりたい。

**質問** G O T O トラベル

キャンペーンの申請手続

のサポートについて伺う。

**経済部長** 観光協会と情

報の連携をして、第三者

機関への契約など複雑な

手続等、宿泊事業者への

サポートに努める。



G o T o トラベル

## 可決した意見書（概要）

### 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴い、地方自治体がかつてない厳しい財政状況に陥ることは明らかである。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- 1 地方自治体の安定的な財政運営に必要な一般財源総額を確保すること。
- 2 令和2年度の地方税収の大幅な減少が予想されることから、減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 3 税源の偏在性が小さく、安定した税収が見込める地方税体系の構築に努めるとともに、政策税制について整理合理化を図り、有効性並びに緊急性を厳格に判断すること。
- 4 固定資産税は市町村の極めて重要な基幹税であるため、制度の根幹に影響するような見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。

〈提出先〉 内閣総理大臣／総務大臣／財務大臣／経済産業大臣／経済再生担当大臣／  
まち・ひと・しごと創生担当大臣

## 12月定例会日程案

令和2年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
11月30日	月	招集告示
12月2日	水	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
7日	月	本会議（一般質問）
8日	火	本会議（一般質問）
9日	水	本会議（一般質問）
10日	木	総務経済常任委員会
11日	金	都市厚生常任委員会
15日	火	三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会
		選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会
17日	木	本会議（委員長報告・採決）

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は12月1日（火）です。



### お家でも議会が見学できます！

三浦市議会では、本会議のライブ映像を配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

三浦市議会  
ウェブサイトは  
こちらから



議会の日程や会議録など、議会に関する情報がご覧になれます。

# 議会災害等対策本部を設置

## 新型コロナウイルスに対する議会での対応

議会災害等対策本部の活動を報告します。

\* 活動記録 \*

七月七日

◎市への要望の提出方法について再確認した。

七月十七日

◎市の対応について報告を受けた。

◎九月定例会の運営方法等について協議した。

八月二十五日

◎九月定例会の運営方法等について協議した。

- ・ 日程案のとおり行う
- ・ 換気、消毒、マスクの着用を徹底する
- ・ 本会議の一般質問は希望する議員全員が行う
- ・ 議席は間隔をあけて配置し、市職員の出席は最小限の人数とする
- ・ 傍聴席は八席とする

◎議員が新型コロナウイルスに感染した場合の公表範囲について協議した。

◎感染症の影響に伴う地方財政の確保を求める意見書について協議した。

九月二十九日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・ 九月十一日に政府から出された、催物の開催制限等に関する通知を受けて見直した市事業について
- ・ 「みうらグルメチケット」購入の応募状況と購入引換券の発送予定について
- ・ 感染予防対策を考慮した、災害時の避難所運営について

◎十二月定例会に向けて対応を協議した。

- ・ 請願・陳情は、申出があれば、郵送も持参と同様の扱いとする
- ・ 議場での飛沫防止対策として、アクリル板の衝立の設置やマウスシールドの着用に関して検討する

## 議会の活動から

海水浴場を開設していない海岸の現地調査と啓発・パトロールを行いました

今年、市内五か所の海水浴場すべてが開設中止となったため、夏の期間は各海岸で、来遊客に海岸でのルールとマナー

を広報し、協力を求めるため、ビーチパトロール隊、警察署、市職員等がキャンペーン活動やごみの回収を行いました。



この現地調査を兼ねて、八月八日(土)と十五日(土)に、三浦海岸で行われた啓発・パトロールに参加しました。参加議員は、啓発物品を配り、安全な海岸利用の呼びかけをしながら、砂浜のごみ拾いをしました。



## 広告を掲載しませんか？

「みうら市議会だより」に掲載する広告を募集しています。

◇市内各世帯(およそ17,500世帯)に配布するほか、市役所、市民センター、市立病院、駅などに配架し、多くの皆さんにご覧いただいています。

◇発行回数：年4回

◇広告規格及び掲載料

例：縦4.2cm×横6.3cm

1回につき

・カラーページ12,500円

・単色ページ 9,500円

※詳細は、議会ウェブサイト内の募集ページをご覧ください！



# 長期欠席した議員の報酬等を減額する条例を制定

九月二十九日に「三浦

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例」が議員から提出され、全会一致で可決しました。

本条例は、議員の職責や議会に対する市民の信頼の確保に鑑み、議会を長期欠席した場合や、市民の信頼に反して議員の責任を果たせない場合における議員報酬等の支給について定めたもので、九月二十九日以降の欠席等について適用されます。条例の内容は以下のとおりです。



## 議会を長期欠席した場合

市議会の会議等（本会議・委員会・政治倫理審査会・全員協議会）を欠席してから、連続して九十日を超えて出席がない場合は長期欠席となります。

長期欠席した場合は、欠席日数分の議員報酬額に、欠席した期間に応じた割合を掛けた額を、翌月の議員報酬から差し引きます。期末手当も同様

## 市民の信頼に反して議員としての責任を果たせない場合

刑事事件で逮捕や起訴などの処分を受けたときは、その処分が解かれる

に減額します。

議会に復帰した後、再度欠席した場合は、本人の申し出により、前の欠席期間から通算することができません。

欠席した期間	割合
90日を超え、180日以下	30%
180日を超え、365日以下	40%
365日を超える期間	50%

まで、議員報酬と期末手当の支給を停止します。

無罪等が決まったときは、停止していた議員報酬を支給しますが、有罪となった場合は支給しません。

条例の全文はこちらから



## 議会報告会について

三浦市議会では、市民の皆さんに議会の活動をお知らせする議会報告会を開催しています。

例年10月に開催していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年どおりの開催を見送ることとしました。

また、今定例会では、議会報告会の開催について柔軟に対応できるよう、三浦市議会基本条例の運用基準を改正しました。

今後、感染症対策を踏まえた開催方法について検討を進めていきます。



昨年の議会報告会の様子

## 議員の辞職

石渡道臣議員が十月三十一日に議員を辞職しました。

十月七日に石渡議員から辞職願が提出され、議長が辞職を許可しました。

このことにより、三浦市議会議員の現員数は十二人になりました。

## 編集委員コラム

編集委員

出口正雄

九月十九日（土）から二十一日（祝）に旧三崎中学校にて開催された「三浦野外上映2020」というドライブインシアターイベントに参加してきました。車から降りずに校舎の壁に張られたスクリーンで映画を観るといったスタイルは、コロナ禍で三密を避けながらゆったり過ごせるイベントとして興味深いものでした。また、車内ということで人に気を遣わず会話、飲食をしながら映画を楽しめるのも魅力でした。一方で排気ガスなどの環境対策も課題にはありますが継続を視野に対策を考えるそうです。映画館が消えて約五十年経つ三崎でまた映画が観れたことは感慨深いものでした。